

私立大学情報教育協会
平成26年度
大学職員情報化研究講習会
基礎講習コース報告

F3班 ファニーボーン

1

発表テーマ
『学生の成長促進のための
教職員協働のススメ』

2

学生の成長促進のための教職員協働のススメ

テーマ選定理由(1) 大学の役割

- ①学生の成長を促す
…主体性を身につけさせる
- ②社会に出たときに困らない程度に社会人基礎力を養う

3

学生の成長促進のための教職員協働のススメ

テーマ選定理由(2) 大学の現状

- ・目的目標を持たずに入学する学生が多い
- ・社会人基礎力が乏しく受け身な学生が多い
→各大学で様々な取り組みを行っているが成果が出ていない
- ・教職員のコミュニケーションが不足している

4

学生の成長促進のための教職員協働のススメ

テーマ選定理由(3) このテーマを選んだ理由

学生の成長のためには、目的や目標をもって生活をおくることが必要

そのためには初年次から目標をもって取り組むことを習慣づけさせることが必要だがしかし…学生が自力で進められていないのが現実

→教職員が協働して学生の成長促進のための機会の提供をする必要がある

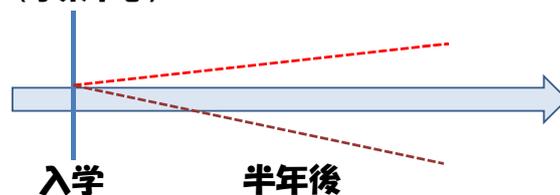


学生の成長促進のための
教職員協働のススメ

5

これまでの初年次教育

目標設定
(学業中心)



6

学生の成長促進のための教職員協働のススメ

問題点の深堀

- 教職員の問題点
 - ・教職員の多忙化により教育にける時間が減っている
 - ・大学方針が全教職員に落とし込まれていない
 - ・・・大学の方針を理解して臨機応変に働き方を変えられていない。ずっと自分のやり方を貫く。
 - ・学生を支える人材の不足(量、質)
 - ・縦割り組織の弊害
 - ・・・教員は教育だけすれば良いのか？職員はただの事務屋なのか？
- 学生の問題点
 - ・学生のポッチ化
 - ・学生のモチベーション低下
 - ・学生の多様化

→ではどうやって教職員を変えれば良いのか？

7

学生の成長促進のための教職員協働のススメ

解決策の検討

- ・教職員の立場部署を超えたコミュニケーションの促進(大学方針の理解共有)
- ・教職協働による初年次教育の企画・実施
- ・全教職員内での学生情報の共有化
- ・学生支援システムの構築
- ・業務改善による時間の創出

8

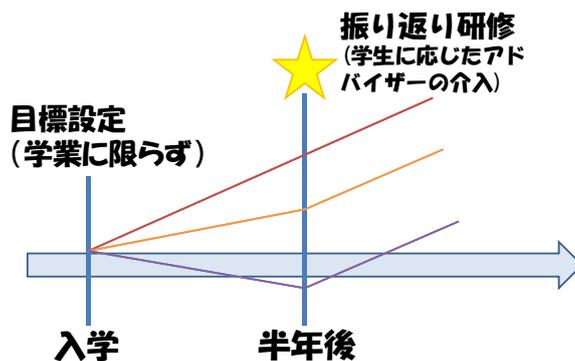
学生の成長促進のための教職員協働のススメ

方策

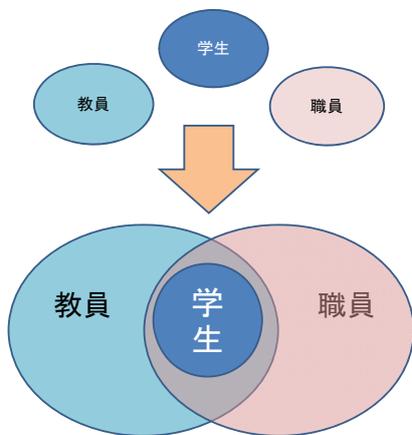
全教職員アドバイザー化計画

- Step1
 - ・教職員のオフサイトミーティング(井戸端会議)で交流を深める
 - ・FSDの実施(教職員合同研修会)
- Step2
 - ・全教職員へのアドバイザー研修
 - ・学生情報の共有
- Step3
 - ・新たな初年次教育の提案
 - ・半年後の振り返り
 - 教職員による進捗チェック:例)宿泊研修
 - 進捗状況が思わしくない学生へのフォローアッププログラム
 - (教職員の中から学生の課題に応じたアドバイザーを選定)

9



10



11

学生の成長促進のための教職員協働のススメ

今後の展開

- ・教職員による学生同士の刺激しあう場の創出
- 例
- 学生同士のディスカッションの場作り
 - 学生主体の複数プログラムの導入
 - (入学式の企画、初年次教育プロジェクトへの学生参画)
 - 学生交流ポータルサイト(サークル交流、学生情報発信の場) 等

12